

## 県内の患者数

矢印は、前週の数に対して 増加 減少 横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	2,948	3,482	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	28	30	ヘルパンギーナ	2	2
咽頭結膜熱	23	12	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	48	49
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	83	66	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	608	565	流行性角結膜炎 (はやり目)	18	12
水痘	87	59	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	5	1	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	5	7	マイコプラズマ肺炎	5	1
突発性発しん	28	30	クラミジア肺炎	1	0

報告が多い  
感染症

- ☀ インフルエンザ
- ☀ 感染性胃腸炎
- ☀ 水痘

- インフルエンザは、報告数 2,948 件(前週報告数 3,482 件)と減少。  
地区別では、菊池、人吉、八代に多く報告がみられる。  
年齢別では、10～14歳の445件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 感染性胃腸炎は、報告数 608 件(前週報告数 565 件)と増加。  
地区別では、山鹿、菊池、宇城に多く報告がみられる。  
年齢別では、1歳の95件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 水痘は、報告数 87 件(前週報告数 59 件)と増加。  
地区別では、菊池、有明、宇城に多く報告がみられる。  
年齢別では、1歳の19件を最多に、10～14歳以下からの報告である。

## ◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	737	4	5	46	193	29	1	3	13	0	1	12		15			1	1
山鹿保健所	92	0	0	0	60	1	0	0	1	0	0	0	*	*				
菊池保健所	426	1	7	10	81	27	3	1	3	0	0	10						
阿蘇保健所	89	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	1	*	*				1
御船保健所	47	0	0	1	12	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
八代保健所	347	3	3	0	31	7	0	0	1	0	0	2						
水俣保健所	80	1	0	1	14	2	0	0	1	0	0	5	*	*				
人吉保健所	262	9	0	4	49	0	0	0	2	0	0	2	*	*				1
有明保健所	349	4	6	7	72	10	0	0	4	0	0	2		2				1
宇城保健所	287	3	2	2	51	6	0	0	3	0	0	12						
天草保健所	232	3	0	11	40	5	1	1	0	0	1	2		1				1
計	2948	28	23	83	608	87	5	5	28	0	2	48	0	18	0	0	5	1

## ◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5歳	6～11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
インフルエンザ	2948	11	55	150	197	261	252	266	205	157	130	120	445	64	99	184	130	80	58	52	32
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	28	1	16	7	3		1														
咽頭結膜熱	23		5	8	4	1	1		3		1										
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	83			3	5	5	5	15	15	4	10	6	7	2	6						
感染性胃腸炎	608	7	50	95	50	55	42	30	48	35	35	19	73	16	53						
水痘	87	2	4	19	17	15	11	5	7	2	2	1	2								
手足口病	5			3	1	1															
伝染性紅斑	5					1	1	1		1		1									
突発性発しん	28		15	13																	
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	2			1		1															
流行性耳下腺炎	48	1		1	7	10	4	10	6	5	1	2			1						
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	18				1								1			1	5	5	1	1	3
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	5		1	1	2													1			
クラミジア肺炎	1		1																		


大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

インフルエンザ : 熊本・山鹿・菊池・八代人吉・有明・宇城・天草

感染性胃腸炎 : 山鹿・菊池・人吉・宇城

流行性耳下腺炎 : 水俣

インフルエンザ



県全体のインフルエンザの患者報告数は2週連続で減少しましたが、地域別に見ると、警報レベルにある地域は先週より1ヶ所増えて、8地域となりました。また、山鹿、阿蘇、水俣、有明、天草地域では先週より報告数が増えています。今後も流行状況に注意し、予防に努めてください。インフルエンザは、突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。予防には、①流行時には人混みを避ける②手洗い・うがい③栄養、休養、睡眠を十分に取る④部屋の換気と保湿に心がけるなどの対策を行いましょう。もし、インフルエンザにかかってしまった場合は、学校や職場へは無理して行かず、早めに医療機関を受診し治療を受けましょう。また、周りの人へうつさないために、咳エチケットを心がけ、外出を控えるようにしましょう。